

破天荒

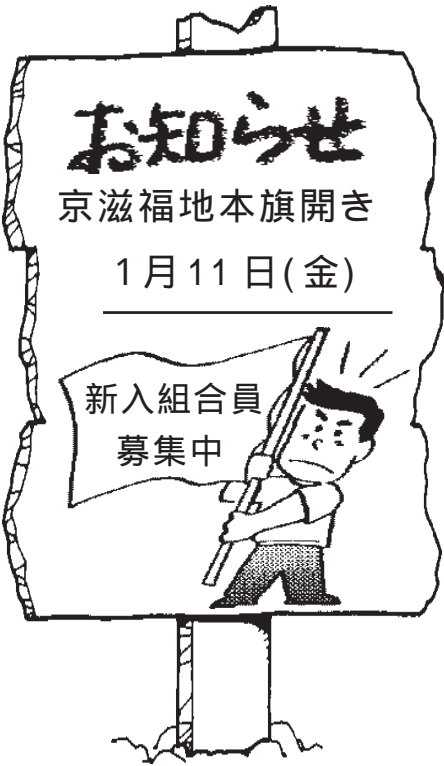
教宣部

5055号

2018年
12月26日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

職場の声 組合員の声 Part3



今年もあと数日で終わろうとしていま
す。組合員七名が増え、その声を載せて今
年の破天荒の最終号とします。

会社がもっと楽しければ
せんか。

どんなに活気に溢れた毎日
を過ごすことができるだろうと
感じる人は多いはず。実際は
「会社」という存在に苦勞してい
るのでは。協力関係の薄利己
的・断絶的な冷えた関係性がそ
こらじゅうにありストレスに
なる職場

会社を悪くしたい、職場環境
を悪くしたい。そんなふうに考
えている人は一人も居ないは
ず。なのになぜ職場に愛着がも
てない。今の会社は決して正常
な状態ではないと考えている
あなた。是非、労働組合に参集
し職場環境を改善していきま



んな感情を持てる人を一人で
も増やしたい。多くの人に労働
組合に加入してもらいたいと
思う。

チームワーク

自分でもしつこい性格だと
思うが「チームワーク」につい
てまだ考えている。会長は日本
サッカーから、社長は音楽の和
音から全従業員が「チーム一丸」
で仕事をしていこう的な文章
を記されていた。組合員を当然
チームの一員ですよ。

組織(チーム)の目標に向け
て複数の人が行動していく過
程がチームワーク。より良い
チームワークのためには、メン
バー全員に目標が理解され共
有されることが重要になる。こ
れが今の竹中では難しいので
はないかと思う。(エンジ化を目
標とする社風作りには舵を切っ
た7~8年前から)

それぞれのメンバーが自分
の仕事をしつかりこなしてい
れば、チームは強くなるかも。し
かし、一人の力には限界がある。
それぞれが他のメンバーの状
況に気を配りながら、支援や協
力が必要となる。お互いの違っ
た面を受け容れながら協力し
合う必要もある。

会長や社長の言う「チーム一
丸」のためには、メンバーそれ
ぞれがお互いを尊重し信頼関
係を深めること、そういう人間
関係を構築していくことが必
要だと思ふ。トップダウンのや
り方では無理だろう。

時間外無賃強制労働

「労働法は守れなくて当然」は
もう通用しない。変われない企
業は「検索」で吊るし上げに遭
う世の中です。また労基法違反
があるなどの場合、厚労省の
「お сай ト」に企業名が公表され
ることがあります。

つまり、国が認めたブラック
企業！なんてタイトルで記事
化され大きなメディアに露出
してしまうことも少なくあり
ません。

^ その二 ^
もし、次に労基に入られたら、
あなたのその「善意(ポイント
稼ぎ)」とやらが新聞に載ること
になりますよ。それくらい逼迫
した状態ということを理解し
て下さい。

お父さんの勤めてる会社、ブ
ラック企業なの？と子供に聞
かれたり親戚縁者、ご近所に知
れ渡るほど辛いことはない。

^ その三 ^
仮に、国が認めたブラック企

業」に名を連ねてしまったら
企業や銀行は取引に躊躇する
ことになるでしょう
いつ無くなるか分からないハ
イリスクな会社とお付き合い
いはしたくないでしょうから。

取引先との会話

取引先の方、みなさん口を揃
えて仰います
「竹中さん、大丈夫ですか？」
「お会いする竹中の社員さん方
みなさん疲弊されてますし、正
直あまりいい噂を聞きませ
んが」

^ その二 ^
竹中さんに商材を紹介する
時は、まず、竹中さん調達のな
か、外注さん調達を確認するよ
うにしています。

確認の結果、後者であれば売
り込みは中止します。いくら一
生懸命売り込んで弊社から
は購入してもらえませんが、と
のこと。これは「竹中電子」だ
けの話ではありません
竹中さんの「あるべき姿」を
追求した結果です、正直恐怖を
感じます。

